

## 「第4次福知山市地域福祉計画」策定に関するヒアリング調査実施方針案

### 1. 調査の目的

○第4次地域福祉計画の策定に当たり、市民とともに、高齢・障害・子育てなどの各分野の団体等に対して、生活や活動上の困りごと、相談先等を把握し、地域福祉計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査の対象

○市内に在住する外国籍の人や子育て世帯、地域活動団体等

### 3. 調査方法

○面談による聞き取り調査

### 4. 実施期間

令和4年6月から8月（予定）

### 5. 調査内容

分類	対 象 者	ヒ ア リ ン グ 項 目	備考
1	<b>地域福祉を活用する人</b> ○公立大学生 （他県からの来福者） ○移住者 ○外国籍の人 ○子育て世代の人	①福知山市の住み心地は ②隣近所とのつきあいほどの程度か ③住んでいる地区で気になることはないか ④学校（勤務先）以外の居場所はあるか （ある場合）どんな場所か （ない場合）どんな場所がほしいか ⑤幸せを感じられているか ⑥今よりも幸せが感じられるようになるためには何が必要か ⑦困りごとの相談先はどこか ⑧福祉サービスや地域でのイベント等の情報はどこから得ているのか。 ⑨災害の発生時や避難時など不安なことはないか	社会福祉課によるヒアリング

分類	対 象 者	ヒ ア リ ン グ 項 目	備考
2	<b>地域福祉を担う人</b> ○地域公民館の館長 ○スポーツ協会	①どんな活動をしているのか ②活動をする上での成果と課題 ③今後取り組みたいこと（行政と協働で取り組めることはないか）	社会福祉課によるヒアリング
	<b>地域福祉を担う人</b> ○保護司 ○あおば会 ○老人クラブ連合会 ○NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク	④行政、社協、地域への期待 ⑤5年前と比べて地域福祉は充実したと 感じるか ⑥その理由（①が「いいえ」の場合、どこ がどうなったら充実していたか） ⑦現在の困りごと ⑧⑦の相談先 ⑨今よりも地域福祉を充実させていくに は何が必要か ⑩5年後に向けて今から取り組むべきこ とは何か	社協と社会福祉課との 合同ヒアリング
3	<b>地域福祉を活用する人</b> <b>地域福祉を担う人</b> ○身体障害者団体連合会 ○障害児（者）親の会 ○NPO法人おひさまと風 の子サロン ○NPO法人ニュートラル		社協による ワークショップで意見 聴取
4	<b>その他</b> ○中高生 ○民間社会福祉施設連絡協議会		社協による アンケート 実施

※網掛け部分の団体には、福知山市社会福祉協議会が実施